

山陰水処理

薬品売りから総合水処理へ 「節水」絡めた省エネ提案も



新出 朋之社長

島根県を商圏としてポイラーや吸収式冷温水機などの水処理薬品・装置の販売やメンテナンスを主軸事業とする山陰水処理(社長=新出朋之氏、本社・島根県松江市浜乃木5-4-28)は、単なる水処理薬品の販売会社というイメージから脱却を図り、総合水処理会社への成長を目指している。現在30歳と若い新出社長がトップリーダーとして指揮を取り、6人の社員とともにアクレッシブな提案営業を実践。従来の水処理薬品や装置の販売だけでなく、

主。創造性と行動力に富む。大学卒業後は金融機関に就職したものの、同社創業者の父親から病床で「家業を継いでほしい」との切望を受け、若千26歳で同社社長に就任した。それでも物怖じすることなく社長業を果敢に務め、就任以降の4年間で同社の事業領域をさらに拡大させた逸材だ。空調冷熱分野では、古い吸収式冷凍機は近年空冷チラーなどへの電化が進んでいる傾向にある。

近年は水質管理、分析、機器メンテナンス、洗浄、改善提案など、水処理に関する総合メンテナンスを展開中だ。ポイラーや吸収冷温水機を採用している地元のビル・工場に対して「節水」を切り口とした省エネ提案も手掛けており、地元根差す水処理会社として日々進化を続けている。同社は1979(昭和54)年に設立。当初から水処理薬品・装置大手の栗田工業(本社・東京都新宿区)の販売特約店を務めている。ポイラーメーカー大手のサムソン(本社・香川県観音寺市)の販売認定店も担っており、水処理薬品・装置や蒸気ポイラーなどの取り扱い実績が豊富。特に現在では「クリタ」ブランドの高度な技術を背景に、水処理薬品の販売、水質管理、水処理機器、洗浄工事、水処理プラントの計画整備など総合メンテナンスを通じて地元産業界の多様なニーズに応えている。

しかし新出社長は地元の市場動向について「確かに電化が進んだが、全体から見るとほんの一部。冷凍機に限らず、ポイラーなどは効率为重視され、水処理のニーズは年々高度化・多様化している。当社はトータルな水処理を提案できるため、まだまだ貢献できる部分が多い」と自信を見せる。

中国地区特集

また近年は省エネ・CO₂削減に寄与する「節水」提案にも力点を置く。「ポイラーであっても、冷却塔であっても、ブロー水を減らすことが大事。ブロー水に伴う補給水の量が減れば、結果として消費電力の削減になり、CO₂削減につながる」とし、ブロー水を抑制する水処理提案を実践中だ。薬品販売後の省エネ提案、アフターメンテナンスを通じて総合水処理会社としての存在感を発揮している。

新出社長は地元の高校を卒業後、神戸市内の大学へ進学。大学在学中には学生ベンチャーコンテストで「異国文化を楽しむで学ぶ機会をプロデュースする国内型ホームステイ」をベンチャービズネスとして企画し、優秀賞を受賞した経歴の持ち